

東向島児童館分館 指定管理者応募事業者概要

事業者名		一般財団法人 本所賀川記念館
評価項目		
1 利用者サービスの向上	(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	・地域における子育て支援の拠点として多様な人々の交流の場とする。 ・国籍・人種・性別・宗教・障害の有無等のために利用を制限する等差別的な扱いはいしない。 ・初めての利用者に対しては丁寧に利用方法やプログラムの案内をする。
	(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	
	(ア) 乳幼児事業の提案が充実しているか	・乳幼児の健全な発達を促し、身体の成長促進と情緒や社会性を育む。 ・子どもたちが何回遊んでも飽きないように工夫する。 ・親子で楽しみ、子どもたちの知的好奇心を育むような遊具や玩具を用意し、子どもたちの想像力や創造力を養う。 ・子育て相談会を行う。
	(イ) 小学生事業の提案が充実しているか	・年齢や発達段階を考慮し、効果的な運動・遊びになるように職員が指導及び補助を行う。 ・通常の遊びのほかにイベントタイムトライアルを設け、子どもたちが挑戦心や達成感を得られるようにする。 ・チャレンジコーナーでは、以下のプログラム等を行う。 ①既設のスクリーンを活かしたゲームやVR体験 ②プラネタリウム機器を設置して、星座講座を開催 ③新学習指導要領で必修となっているダンス講座の開催 ④自由に工作活動を行う。 ・その他に利用者の意見を反映したものを展開できるように努める。
	(ウ) 利用者支援事業の内容が妥当であるか	・情報ラウンジで子育て支援を推進するために、子育て関連雑誌、区内の子育て支援情報チラシ等を配置する。 ・職員に気軽に子育て相談ができるよう日常から声掛けを行い、相談内容によっては相談室を活用し、必要に応じて専門機関に繋げたり、本館の地域子育て支援拠点事業を紹介し、子育ての孤立化の防止に努める。 ・利用者支援専門員による保護者同士の関係づくりの補助、ニーズや不安に対して、個別相談、関係機関との連携を行う。
	(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	・ひきふね図書館との共同企画 ・子どもたちの作品を展示コーナーに展示することで制作意欲や創造力を育てる。 ・定期的に遊具や玩具を見直し、遊び飽きないよう工夫し、行事も企画する。
	(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	・年代階層別を対象にアンケートを実施し、寄せられた意見を運営に反映する。 ・意見箱を設置し、運営の改善に繋げ、掲示板等で回答する。 ・本館で行う運営委員会を通して、分館についての意見や提案を聴く。
2 効率的・効果的な施設の運営	(5) 配慮を必要とする子どもへの対応（体制、研修、職員育成等）が考えられているか	・職員の質の向上のため、救急救命研修、発達障害等についての研修を実施する。 ・虐待予防を目指す。
	(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	・「墨田区次世代育成支援行動計画」を踏まえ、子どもたちの心身の育ちを支え、子育て世帯を支援する。 ・児童館は遊びを通して、健全育成を図る場所であり、多世代が交流することで豊かな情操や社会性が育つ場所とする。
	(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	・エコマネージャーを選任し、冷暖房の温度管理や不要な電灯はこまめに消灯する。 ・廃棄物排出の減量の意識づけを行う。 ・利用者に節約、節水、節電等を掲示にて呼びかける。
	(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	【指定管理料】 平成30年度 34,766,624円 平成31年度 70,438,602円
	(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	・職員の採用に当たり、同程度の資格、経歴を持つ応募者においては、優先的に区民を雇用する。 ・施設の維持管理、修繕、備品・事務用品等の発注は区内企業を活用する。
	(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か	・区内の保育園、幼稚園、小学校等にチラシやポスターを配布する。 ・分館専用のホームページを作成し、魅力をPRするとともに本館と相互リンクできるようにする。 ・子育てアプリを月1回以上更新する。
3 事業計画の遂行能力	(6) 東向島児童館分館として、本館の社会的資源等を効率的・効果的に活用した運営がされているか	・本館の運営委員会を活用し、意見、要望を把握する。 ・本館の培ってきた経験を活かし連携して子育て支援を行う。 ・時間制利用の分館、自由利用の本館の特長を活かし、利用者ニーズに合わせた居場所を提供し、利用者の様子や相談事を共有し、連続した支援体制を構築する。 ・分館を通して、地域に興味を持った利用者には、本館が行っている地域との協働事業を紹介し、繋げていく。
	(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	【税引き前当期純利益】 平成27年度26,419千円 平成28年度37,008千円 【平成28年度純資産】 262,173千円 【平成28年度自己資本比率】 60.1%
	(2) 職員構成・職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	・常勤10名 ・経験年数等も考慮しバランスよく職員配置されている。
	(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	・館長の経験年数12年 ・法人が管理運営する児童館に設置しているクライミングウォールで研修及び指導を行っている職員を配置する。 ・常勤職員は、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第38条第2項を満たす者を配置し、さらなる質の向上のために全体研修、部門別研修、館内研修等実施する。
	(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	・「個人情報の保護に関する法律」及び「墨田区個人情報保護条例」を遵守する。 ・個人情報管理責任者を定め、各種個人情報については施錠できる書庫に期限を定めて保管し、外部持出しを禁止する。 ・「墨田区情報公開条例」に準拠した規程を設けて対応する。
	(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	・苦情処理は苦情解決窓口として、館内と法人にそれぞれ苦情解決責任者と苦情受付担当者を配置し、対応する。また、法人で委嘱した第三者委員に対して直接苦情を言える体制を整える。 ・災害発生時の避難の際は、利用者の入館名簿や登録票を活用し、保護者や家族との連絡に努める。